2026 年 11 月 2 日
株式会社ツルハホールディングス
東 北 電 力 株 式 会 社

オフサイト型コーポレート PPA サービスの導入について
～首都圏の 48 店舗で再エネ電力を受電～

株式会社ツルハホールディングス（本社：北海道札幌市、代表取締役社長　鶴羽　順、以下「ツルハホールディングス」）は、東北電力株式会社（本店：宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員 石山 一弘、以下「東北電力」）が提供する太陽光発電所を活用したオフサイト型コーポレート PPA サービス※を、ツルハグループの店舗に 2026 年 11 月 1 日から順次導入いたします。

本サービスは、首都圏の太陽光発電所で発電した再生可能エネルギー由来の電力（以下「再エネ」）を、小売電気事業者である東北電力が、ツルハグループが首都圏で運営する「くすりの福太郎 21 店舗」および「ツルハドラッグ 27 店舗」の計 48 店舗に供給するものです。くすりの福太郎には 2026 年 11 月 1 日から、ツルハドラッグには 2027 年 3 月（予定）から、それぞれ供給を開始いたします。

ツルハグループは、「地域社会への貢献」を経営理念として掲げ、カーボンニュートラルの実現に向けて、店舗照明の LED 化や空調設備への EMS 導入、太陽光発電設備の設置を積極的に進めており、本サービスの導入により、年間約 743 トンの CO_2 排出量削減を見込んでいます。今後も脱炭素社会の実現と環境負荷の低減に取り組んでまいります。

東北電力は、お客さまの環境意識の高まりなどによるニーズの多様化を踏まえ、再エネ由来のコーポレート PPA をはじめとするさまざまな「カーボンニュートラルソリューション」を組み合わせた最適なサービス提供を通じて、お客さまの CO_2 排出量削減に取り組むとともに、地域社会のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

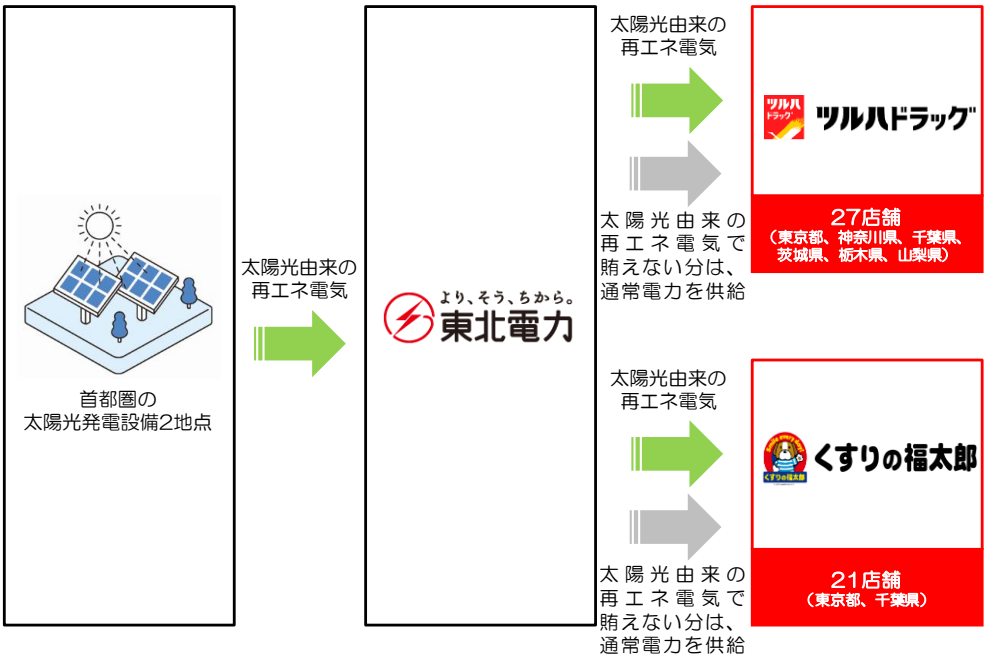
※ 小売電気事業者である東北電力が、需要家の敷地外にある太陽光発電所等を所有する発電事業者から再エネ由来の電力を購入し、一般送配電事業者の系統ネットワークを介して需要家に販売するサービス。

■ツルハグループへの再生可能エネルギー電力供給の全体像

東北電力は、ツルハグループが首都圏で運営する 48 店舗に対し、年間約 1,763MWh の再生可能エネルギー由来の電力を供給します。これにより、年間約 743 トンの CO_2 排出量削減を見込んでいます。

項目	内容
対象施設	**首都圏の 48 店舗** （内訳）●ツルハドラッグ：27 店舗（東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、山梨県） ●くすりの福太郎：21 店舗（東京都、千葉県）
年間供給量	**約 1,763MWh/年（一般家庭約 565 世帯分）** （内訳）●ツルハドラッグ：約 1,206MWh／年 ●くすりの福太郎：約 557MWh／年
想定 CO_2 排出削減量	**約 743 トン-CO_2／年** （内訳）●ツルハドラッグ：約 508 トン-CO_2／年 ●くすりの福太郎：約 235 トン-CO_2／年
供給開始日	**2026 年 11 月 1 日から順次** （内訳）●ツルハドラッグ：2027 年 3 月（予定） ●くすりの福太郎：2026 年 11 月 1 日
供給期間	各店舗の供給開始から 10 年間

<イメージ図>



以　上